

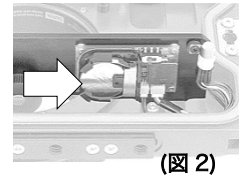
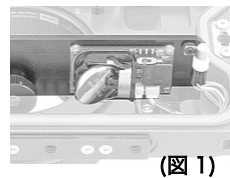
INON

バキュームリークセンサー

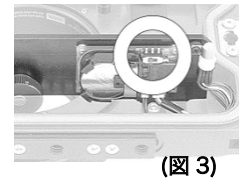
- 製品内訳 :
- ・バキュームバルブキャップ ① ×1
 - ・バキュームバルブ ② ×1
 - ・バキュームポンプ ③ ×1
 - ・使用説明書(本書)



- 電池をセットする :
- ・ハウジングのカメラステー底面にリチウム電池(CR2032:別売)をセットします。リチウム電池(CR2032)の+(プラス)端子側を手前にして、リークセンサーに装着します。+(プラス) / -(マイナス)の方向を間違えないようご注意ください。(図1)電池を取り外す際は、電池を(図2)の矢印方向に押してください。



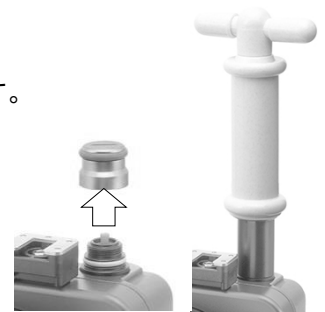
- 電源をONにする :
- ・(図3)の白丸がリークセンサーのスイッチです。スイッチをONにするとリークセンサーが起動します。
 - ・電池の消耗を避けるため、長期間使用されない場合はスイッチをオフにしてください。

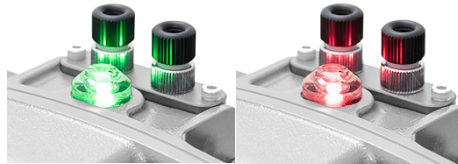


- ・電源をONにした際のリークセンサーLEDの点滅具合で、電池残量が分かります。

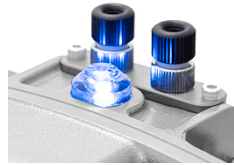
	3回点滅	電池残量は十分です
	2回点滅	電池残量が少なくなっています
	1回点滅	電池を新しい物へ交換してください

- リークチェックを
実施する :
- ・バキュームポンプを用いて、ハウジングのリークチェックを行います。リークセンサースイッチをONにした状態で、カメラをハウジングにセットします。バキュームバルブキャップを外し、バキュームポンプを用いてポンプアクションを行ってください。ポンプアクションに応じて、リークセンサーLEDの発光色が変化していきます。

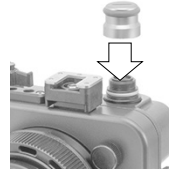




ポンプアクション直後は、LEDが赤緑に点滅します。そのままポンプアクションを続けてください。



緑色に点滅したら、慎重にポンプアクションを1~2回追加してください。ブザー音とともに、青色の点灯状態になったら終了です。



(図4)

すぐにバルブキャップをセットしてください(画像4)そのままの状態、**5分後**に防止性能が確保されているかの合否判定が出来ます。



ポンプアクションをやりすぎた場合、赤色に点灯します。この場合、VCリークセンサーの電源をオフにして、リークチェックを始めからやり直してください。

リークチェックの判定結果について : ・LEDが青色に点灯してより5分後、合否判定が出来ます。

	<p>青点滅</p>	<p>OK。問題ありません。</p>
	<p>赤点灯</p>	<p>NG。水中での使用はできません。ハウジングメインOリングの状態を確認、グリスアップした後、再度リークチェックをやり直してください。</p>

使用後のハウジングの開閉について : ・バキュームリークセンサー起動時は、ハウジング内部が陰圧状態になっているため、そのままの状態ではハウジングを開けることができません。ハウジングを開ける際には、バキュームバルブキャップを開け、バキュームバルブの青色の突起を上押し(図5)、陰圧状態を解除してください。



(図5)

ご使用後について : ・電池の消耗を抑えるため、リークセンサースイッチをオフにしてください。また長期間使用されない場合には、リークセンサーよりリチウム電池(CR2032)をハウジングから外してください。

有限会社 イノ
〒247-0061 神奈川県鎌倉市台 2-18-9
Tel/Fax 0467-48-2174/0467-48-2178
E-mail support@inon.co.jp
URL http://www.inon.co.jp/

2019年11月